

浜松工場工事概要

別紙

(1) 建物の建替・補強

- ・大きな地震時にも新幹線が長期にわたり不通となることのないように全般検査を維持するため、耐震性の高い建物に建替、補強をします。
- ・建替を行う建物面積 約10.9万㎡
- ・補強を行う建物面積 約1.5万㎡
- ・緑化を行う面積 約6.3万㎡

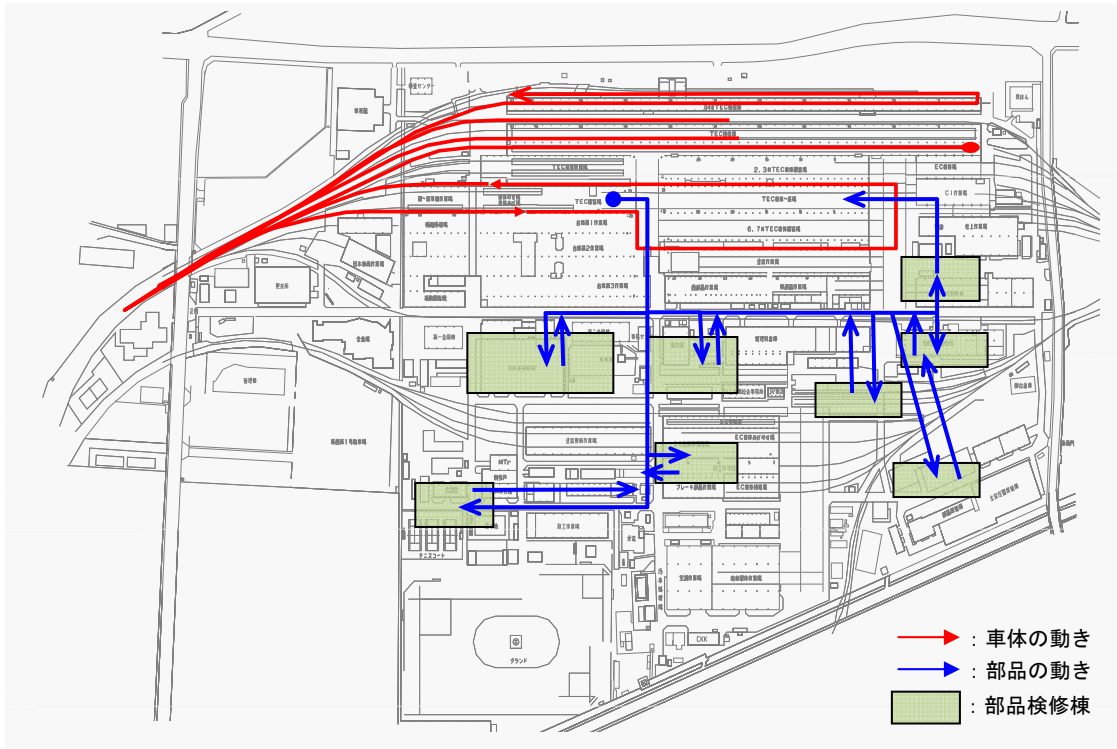


【完成予想図】

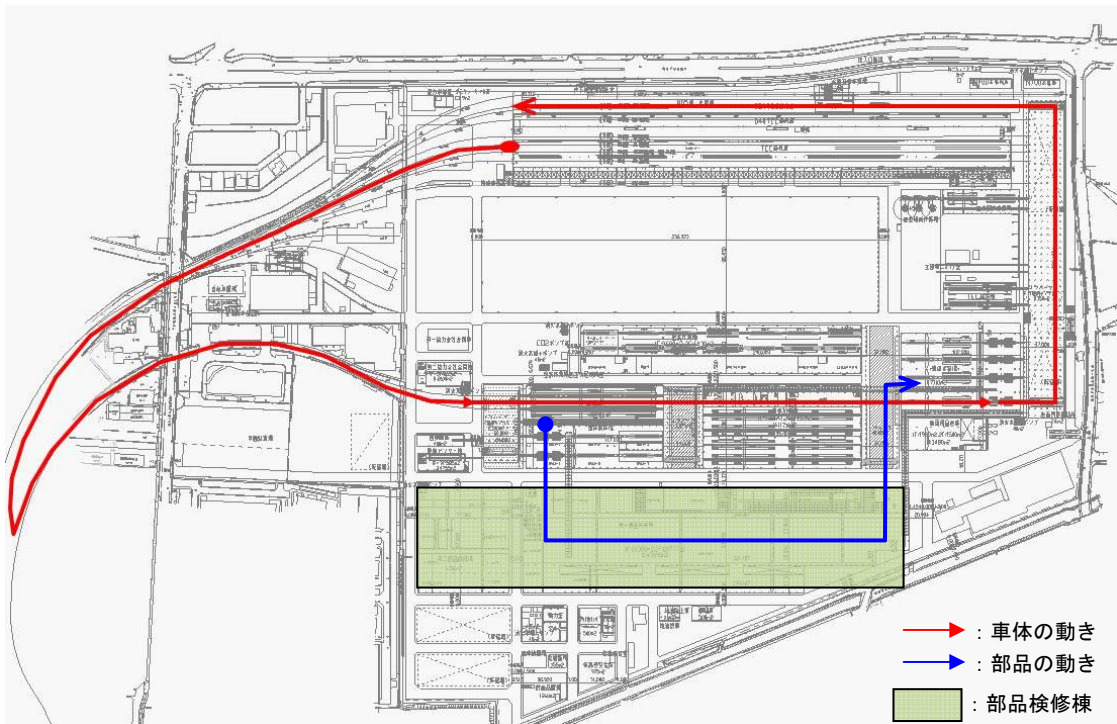
(2) 効率的な検修ラインの構築

- ・ シンプルな検修ラインの構築により、全般検査工程を効率化し、N700系の全般検査の所要日数を現在の15日から14日へ短縮します。
- ・ 建物配置を見直し、部品運搬作業を効率化します。

○現在の車体と部品の動き



○リニューアル後の車体と部品の動き



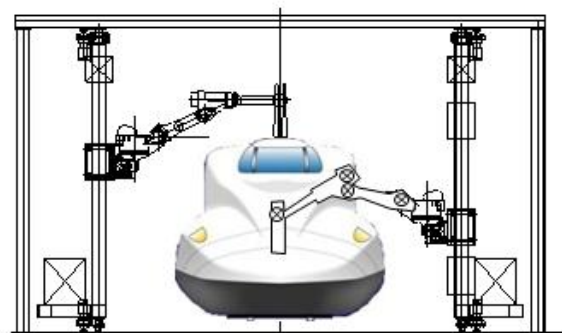
(3) 最新機器の導入による効率化

最新の検修機器を導入し、現在人手で行っている作業を機械化します。

○先頭部研ぎ装置の導入



現在の先頭部研ぎ作業

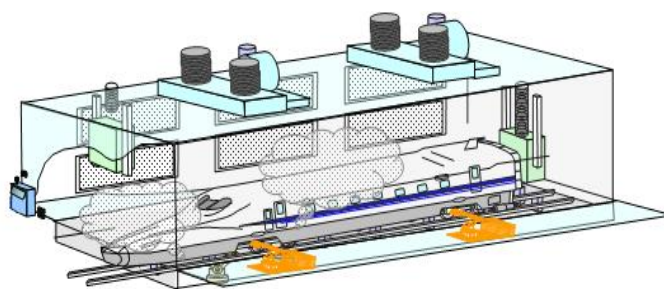


先頭部研ぎ装置

○気吹きブースの導入



現在の床下気吹き作業

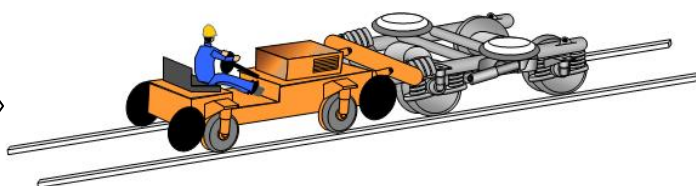


気吹きブース

○台車搬送装置の導入



現在の台車移動作業



台車搬送装置

(4) 省エネ設備導入による環境への適応

○太陽光発電システムの導入

工場の屋根を利用し太陽光発電システムを導入します。

- ・面積：約4,300㎡
- ・発電容量：約300kW
- ・年間発電量：約30万kWh



太陽光パネル

○高効率インフラ設備の導入

高効率変電設備、ボイラーを導入し、約10%の省エネを図ります。

工期詳細

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
設計								
	部品検修棟工事							
				車体検修棟工事				
						★ 新検修ライン使用開始		
							旧建物撤去・検修庫補強	
							工事完了予定	